

川田市長と

まちかど

開催報告

タウンミーティング



開催概要

日時:令和7年7月24日(木)午後2時～3時

会場:戸津公会堂

参加者:12名

テーマ:公共交通

タウンミーティングの流れ

- ① 開会（事業目的の説明 等）
- ② 市長から説明（市の公共交通に係る施策について 等）
- ③ 参加者と市長との意見交換（テーマについての意見交換）
- ④ 閉会

【意見交換の主な内容】



参加者

説明の中にあつたコミュニティバスの再編ルートを実際にバスが運行する時期については、いつごろからを予定しているのか。



市長

令和8年10月以降の実施に向けて、現在取り組みを進めています。



参加者

乗り合いタクシーはいつまで運用されるのか。



市長

令和8年の1月末まで実証実験的に運用いたします。



参加者

戸津地区の公共交通に関する5年、10年先のビジョンをお持ちであれば聞きたい。



市長

5年、10年先の中長期的なビジョンか、或いは1年先の話かとなると、それぞれビジョンや考え方は大きく変わってくると思います。例えば5年、10年先であれば工場等が増え、交通量も増える可能性があります。それを今から考えてしまうと、今困っている皆さんの交通手段が間に合わない。この先1~2年の目標でコミュニティバスを再編しています。10年後となると、工場や人の増加は地区によって本当にどうなっているかわからない状態ですが、戸津の方々は今まさにバスがなくなってしまうので、とりあえず現段階をもとにコミュニティバスを再編して、長期的には状況が変わればその時にまた組み直し等を再考できたらと考えています。



参加者

乗り合いタクシーについては料金をどれぐらいで考えているのか。



市長

料金は現在検討中であり、未定です。



参加者

戸津地区には解体業者や大型トラックの駐車場があり、大きな車が非常によく通る。そのため、バスが通るには離合しにくく、子どもたちが通るには危険な場所で、高齢者の方にとっても危険なため、この先、道の改善も検討していただきたい。



市長

おっしゃる通りで、戸津地区は交通量が多く、道幅も狭くなっております。昔はこんなに車が通るということを想定していなかった道に、とてもたくさん車が入ってきている状態であると思います。こちらに関しては府でバイパスという太い道を通す事業があり、作業をしていただいているところですが、道を作るという作業は非常に時間がかかってしまいます。バスの離合に関しては、戸津地区を走る乗合タクシーは車体をハイエースのような車で想定しています。そのため、道の狭さに関しては少し小回りが可能であると思っております。



参加者

コミュニティバスやライドシェア、デマンド等、横文字が多すぎてシステムがわかりづらくなっている。世間一般ではその言葉で通っているが、八幡市独自のわかりやすい表現があってもいいのではないか。



市長

デマンドやライドシェア等の横文字が公共交通になると多くなってしまいますので、私どももその説明に横文字をなるべく使わないようにするという心を心がけて参りたいと思います。八幡市のコミュニティバスも皆さんに親しんでもらうという意味で愛称をつけるというのもすごくいいなと思っております。